

寝屋川市国際交流協会 30 周年記念スピーチコンテストに参加して

茅ヶ崎中級クラス

清水彩帆（高3）

英語を習っているイクオス英語学院茅ヶ崎コースの北川先生より、スピーチコンテストのことを聞きました。原稿提出までに日数がなく、定期テストもあってどうしようかと迷いましたが、スピーチを作り上げることで自分の英語力が上がると思い、挑戦してみることにしました。

テーマが国際社会だったので、それに関するスピーチでなければなりません。茅ヶ崎コースのニュース英語から、震災以来世界の国々から被災者や日本に暖かい援助が多く寄せられていることを習って知っていましたので、3月11日の東日本大震災のことをスピーチにして、援助いただいた国々や方々にお礼を言いたいと思いました。

まずどんな国々、どんな方々が援助の手を差し伸べて下さったか。

震災以降の茅ヶ崎コースのニュースに目を通し、他の級のニュース、Japan Times の関連記事などは北川先生がコピーして下さいました。

たくさんの関連ニュース記事があり、こんなにも多くの方々が日本や被災者に心を寄せ、募金だけでなく、ボランティアでいろいろなことをして下さいただなあ、と再確認し、胸が熱くなりました。

とは言え5分以内のスピーチですから、すべてを取り上げることはできません。印象的なものを選び、その英語表現を借りてスピーチを組み立てました。

スピーチを作りながら、先生と内容について話し合っていく中で、普段は当たり前のように思っている家族や友達の存在、水の大切さなどを改めて実感しました。

私のつたない英語を分かりやすい、流れる英文に添削していただき、北川先生にはとても感謝しています。また発音しづらく聞き取りにくいワードは聞き取りやすいものに変えたり、発音やパフォーマンスの注意など、本当に細かいところまでアドバイスしていただきました。ありがとうございました。

結果は高校大学生の部で2位でしたが、今の自分の持っている力は全部出せたと満足しています。

これからも茅ヶ崎コースで勉強して、もっと自分の英語力の底上げをしたいと思います。